担当　小林　亨

【第３次　９時間目／１５時間】

（１）本時のねらい

　亀田郷の稲作にかかる労働時間の変化について，自分の予想を基にして副読本で調べることを通して，栗ノ木排水機場の稼働によって，区画整理や機械化が進んだことで，労働時間が短縮したことをとらえることができる。

（２）本時の展開

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 学習活動 | 教師の働き掛けと予想される児童の反応 | 資料と留意点 |
| １　亀田郷の米作りにかかる労働時間が減った理由についての予想を確認する。  （10分） | Ｔ1　みなさんが，今解決しようとしている課題は何でしたか。  Ｃ1　労働時間が，なぜ減ったのかです。  ＜学習課題＞  米作りの労働時間が，今くらいにまで減ったのは，なぜだろうか。  Ｔ2　みなさんが，２つの地図から見付けた違いから立てた予想を発表してください。  Ｃ2・栗ノ木排水機場ができたことで水が減ったのではないか。  　 ・田んぼがきれいに四角くなったので，作業しやすくなったのではないか。  　 ・道路が増えたので機械を使えるようになったのではいか。  Ｔ3　予想を確かめるには，どんな資料が必要ですか？  Ｃ3・排水機場ができて，どんなことが変わったか分かる資料が欲しいです。  ・佐野さんのお話資料に書いていないかな。  Ｔ4　では今日は，まず，「私たちの政令市新潟」を使って，予想を確かめてみましょう。 | 〇前時の資料とグラフを提示する。  ・乾田化されていない亀田郷の写真  ・佐野藤三郎の顔写真  ・言葉「水と土と泥まみれのたたかい」  ・10aあたりの米作りにかかる労働時間のグラフ  ・昭和22年と43年の２枚の地図 |
| ２　「わたしたち政令市新潟」から，栗ノ木排水機場の稼働によって，土地改良と機械化が進んだことをとらえる。  （20分） | Ｃ4・栗ノ木排水機場ができて水位が90cm下がった  ↑・水が減って作業しやすくなった。  　 ・用排水路や農道ができた  　　↑・これができると，なぜ時間が減るのかな  　　　 ・ものが運びやすくなるんじゃないかな。  　　　 ・排水路ということは，水を外に出す水路だから，水が減ったことにつながるのではないかな。  ・区画整理がされた  ↑・田んぼがきれいに四角になったということと同じだ。  ・四角になると植えたり収穫したりしやすくなるかな。  　 ・機械が入り，仕事の能率が高まったと書いてある。  　　↑・水が減ったから，機械が動かせるようになったんだ。  　　　・道路が増えてる。機械を移動させやすくならないかな。  　　　・田んぼが四角いのも，機械を動かすことと関係がありそうだ。  Ｔ5　みなさんが確かめられたことを，発表してください。  Ｃ5　（上記Ｃを全体で確認） | ◯前時の各グループのホワイトボード（画用紙等）とペンを再配付し，言葉や矢印を書き加えさせる。 |
| ３　佐野さんのVTRを基に，労働時間が短縮された理由をまとめる。（15分） | Ｔ6　ここで，佐野さんのお話も聞いてみましょう。  Ｃ6　やっぱりそうだったんだ。  Ｔ7　今日の学習をまとめると，この写真の人たちにどんなメッセージが送れそうですか。吹き出しに書いてみましょう。  ＜まとめ＞  排水機場ができたので，田んぼの水がへったし，田んぼの形もきれいになって，道路もできて，機械化が進んでよかったですね。佐野さんや昔の人たちのおかげですね。 | ◯DVD　３次⑥⑦  （３分47秒）  ◯土地改良後の田や稲作の様子が分かる写真を提示する。 |